

栗本コンクリート工業、関東物流センター、そして海外拠点。
国内で、海外で、環境技術の開発を進めています。

栗本コンクリート工業(株)

滋賀県は琵琶湖の東、東海道新幹線の京都・米原間の車窓から一瞬、湖東三山を背景に工場が確認出来る愛知川沿いに栗本コンクリート工業はあります。昭和36年1月23日に設立されて以来、一貫して下水道用遠心力鉄筋コンクリート管を製造してきました。標準的な下水道管だけでなく、1kmを超える長距離推進・超急曲線および超曲線施工に対応した特殊推進管で差別化を図り、多大な信頼と実績を築いています。主な製品は、セミシールドパイプ SSP (下水道推進工法用ガラス繊維鉄筋コンクリート管) やクリトMAX推進管(鋼・コンクリート合成管)。さらに、ハイガードパイプ(内面ライニング管)には、近年硫化水素対策として注目をあびている対酸・対薬品に大変優れたポリエステル樹脂を内面にライニングしております。これらの製品で、業界トップクラスの特許を保有しております。

近年多発する集中豪雨への対応として、緊急雨水対策事業が各地で計画されています。また下水管の工事も、都市部の交通渋滞の原因となる開削工法から、地中を推進する推進工法へ移行しています。当社のMAX管やSSPの採用がますます期待されています。



関東物流センター (モーダルシフトの拠点)

関東物流センターでは、地球に優しい輸送方法「モーダルシフト」を実施しています。これは、トラックによる幹線貨物輸送の代わりに、地球に優しく大量輸送が可能な海運または鉄道による輸送に転換すること。大量輸送には、石油資源消費量の削減・コストダウン・CO₂排出量の削減といった効果があります。関東物流センターを中心に、当社での物流計画の改善を進め、モーダルシフトへの取り組みを進めています。



民間・海外の展開

●タウンサ堰改修工事

パキスタンのパンジャブ州政府灌漑電力局より「タウンサ堰改修工事」を受注しました。現在、土砂吐ゲート7門・洪水吐ゲート22門・電気設備・付属設備の設計・製作・試運転を含む据付等の工事を行っています。工期は2009年3月15日まで。水資源の不足など、多くの問題を抱える同地方の解決となるよう、また工事を通じて日パ友好の足がかりとなるよう、尽力していきます。



●寧波東光五金有限公司

中国浙江省寧波市にある寧波東光五金有限公司(設立2001年11月)。呼び径φ400~φ1200までのバルブ生産を行う第一工場に続き、第二工場を増築しました。第二工場では最大呼び径φ4000までのバルブおよび中大型機械製品の素材の調達・加工・組み立てまでの一貫生産が可能となっています。また、将来的には当社の機械加工工場としての役割を担うことも、目的としています。



●海外新会社の設立

当社は海外比率拡大政策の一環として、米国の連続式混練機メーカー Readco Holdings, LLC および Readco manufacturing, Inc を買収し、工場や販売網を引き継ぐ形で北米市場に参入。新たに持ち株会社 Kurimoto USA, Inc と製造販売会社 Readco Kurimoto, LLC を設立しました。



●ベトナムでの物件

ベトナムのタンソニャット空港・国際ターミナルアプローチブリッジへ、現地製造のワインディングパイプを納入いたしました。



●フィリピン支店の誕生

米国の他、フィリピンのマニラを支店へと昇格し、中国、ドイツ、米国の駐在事務所と合わせて、さらなる海外への展開へ向け、活動していきます。

